

政策情報学会

第 21 回 研究大会



2025 年 11 月 29 日（土）

会場 東海学園大学 名古屋キャンパス

政策情報学会第 21 回研究大会 開催にあたって

テーマ：「知識創造と政策情報」

野中郁次郎氏と竹内弘高氏によって提唱された知識創造理論は、経営の本質を「知」と捉え、日本企業がどのようにイノベーションを創出し、競争力を維持してきたかを解明するために生まれたものであり、現在、経営学において効果的な組織学習やマネジメント方策の示唆を提供する重要な理論として位置づけられている。そして、この理論は企業経営のみならず、あらゆる組織や社会の現象にも応用可能であると考えられている。

当該理論の核心は、「暗黙知（言語化されていない個人の直感や経験、スキル）」と「形式知（言語化された情報やデータ）」が相互作用することで新たな知識を生み出すプロセスにあり、その中核は「共同化：Socialization（暗黙知が他者と共有されるプロセス）」「表出化：Externalization（暗黙知が形式知に変換されるプロセス）」「連結化：Combination（形式知が他の形式知と結合され、新たな形式知が生成されるプロセス）」「内面化：Internalization（形式知が暗黙知にとして個人の中で深化するプロセス）」といった 4 つの知識変換モードの循環に基づく SECI モデルである。

政策過程をこの SECI モデルの視点で捉えると、政策形成は、多様な主体（行政機関、議員、学者、市民、企業など）が、それぞれの知識や思い（暗黙知）を対話によって共有することで具体的な政策案（形式知）として表出化し、そうした政策案と様々なデータ・情報を統合することで体系的な政策（形式知）へと連結化させる営みである。また、政策実施は、政策（形式知）を発信・実行することで、次の政策形成の源泉となる、各主体の新たな経験知を生み出すプロセス、すなわち政策を個人の暗黙知として内面化する現象として捉えられる。

したがって、政策過程は知識創造そのものであり、政策情報は知識創造の源泉となる重要な「知」として位置づけられる。このような知識創造理論を用いて政策過程や政策情報を議論することは、政策情報の新たな価値と、それに関わる各主体の役割についての重要な示唆をもたらすと考ええる。本研究大会が、各学会員が持つ豊かで貴重な知識を、活発な議論を通じて共有し、新たな知見を創出する知識創造の場となることを期待したい。

政策情報学会第 21 回大会実行委員長
東海学園大学経営学部准教授
岡村 誠

大会参加要領

- (1) 日時 2025 年 11 月 29 日 (土) 10:00~17:00 (受付: 9:30~16:00)
東海学園大学名古屋キャンパス 4 号館
- (2) 大会参加費 一般会員・学生会員・非会員 1,000 円 (参加費のみ)
2,000 円 (昼食代込み)
※学生会員の方は学生証をご提示下さい。
※開催校の学部生・大学院生 (非会員限定) は学生証提示で無料です。
- (3) 意見交換会費 一般会員・学生会員・非会員 5,000 円
※意見交換会費は事前に大会受付にてお支払い願います。
- (4) 研究発表 1 人あたり発表 15 分+質疑 5 分
- (5) 大会本部 〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21-233
東海学園大学経営学部 岡村研究室 宛
E-Mail: taikai-21@policyinformatics.org
- (6) 学会事務局 〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1
千葉商科大学内
- (7) 使用会場
- | | |
|------------------|------------------|
| 開会式 | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 研究発表 (一般報告) | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 研究発表 (研究大会賞選考報告) | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| パネル展示 | 4 号館 2 階廊下 |
| 学会賞選考審査 | 4 号館 2 階 426 演習室 |
| 理事会 | 4 号館 2 階 425 演習室 |
| 定期総会 | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 基調講演 | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| パネルディスカッション | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 学会賞授与式 | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 閉会式 | 4 号館 2 階 420 講義室 |
| 意見交換会 | 原駅近辺 (※検討中) |
- (8) 昼食場所 当日、食堂の営業はございません。会場付近には飲食店等もございませんので、参加申込時に昼食を予約いただくか、各自で弁当等をご持参ください。

会 場 東海学園大学 名古屋キャンパス
〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目 901 番地

主 催 政策情報学会

【大会の出欠連絡】

○11月2日（日）までに出欠の連絡をお願いいたします。

（出欠フォーム）学会サイト内の研究大会出欠フォームをご利用ください。

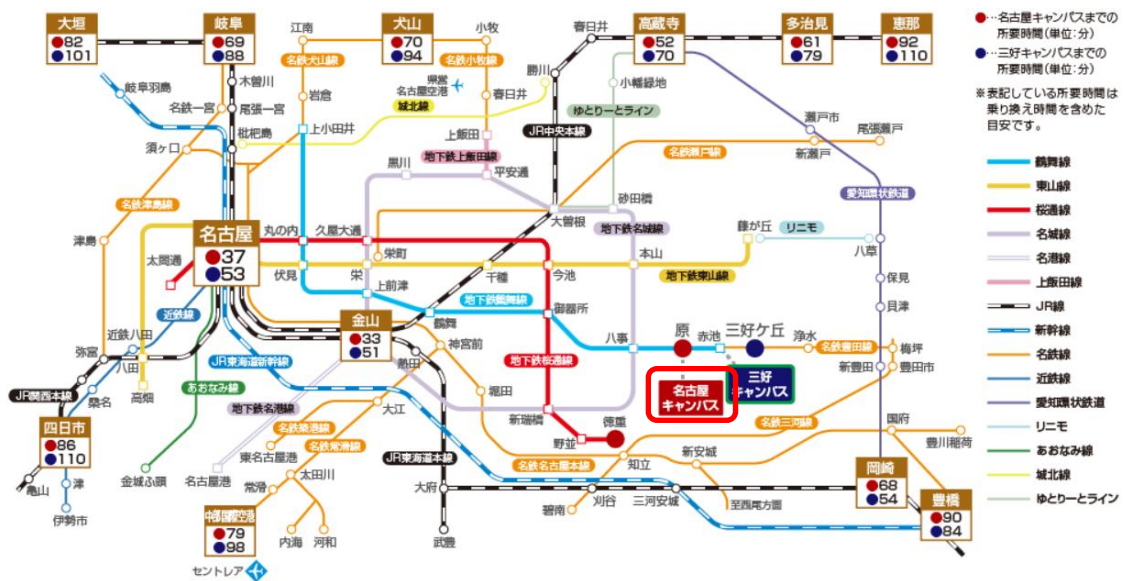
【大会参加費および意見交換会費】

○研究大会当日、受付にてお支払いください。領収書を発行します。

【会場へのアクセス】

■最寄り駅までのアクセス

https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/about_us/access/



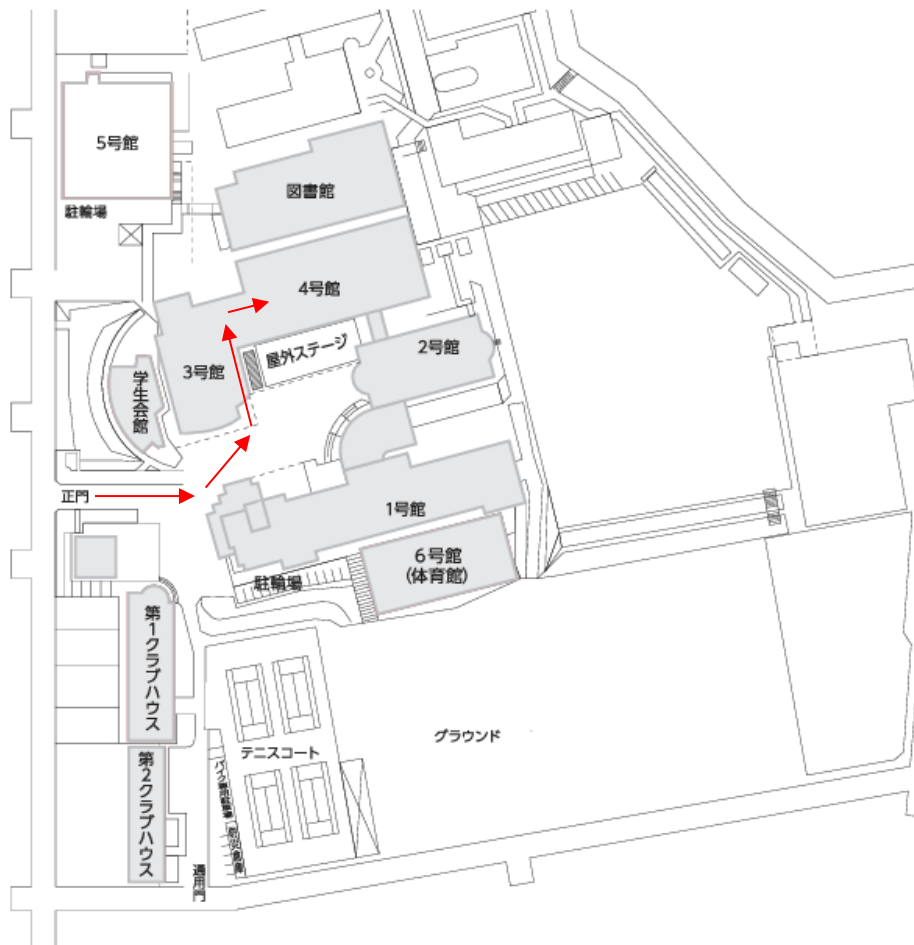
- 名古屋方面から
 - 地下鉄東山線「伏見」駅または地下鉄桜通線「御器所」駅で鶴舞線に乗り換え、「原」駅下車
- 豊田方面から
 - 地下鉄「原」駅下車（名鉄豊田線から直通）
- 春日井方面から
 - JR中央本線「鶴舞」駅下車、地下鉄鶴舞線に乗り換え、「原」駅下車
- 「原」駅から
 - 徒歩約20分または市バス（のりば：1または2、系統：幹原1・原11・平針12・徳重13）に乗り換え、「平針南住宅」下車、徒歩約3分

■最寄り駅からのアクセス



■キャンパスマップ

https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/about_us/facilities/doc/campusmap.pdf



連絡先

第 21 回研究大会実行委員会

東海学園大学経営学部 岡村 誠 宛

E-mail : taikai-21@policyinformatics.org

プログラム

＜受付＞	9:30～16:00	4号館2階廊下
大会参加費：1,000円（参加費のみ）、2,000円（昼食代込み）		
◆開会式◆	10:00～10:10	4号館2階420講義室
開会挨拶：岡村 誠（大会実行委員長：東海学園大学） 会長挨拶：朽木 量（政策情報学会会長：千葉商科大学）		
◆研究発表（一般報告）◆	10:20～11:05	4号館2階420講義室
座長：泰松 範行（東洋学園大学） (1人あたり発表15分、質疑5分) 【報告①】（10:20～10:40） 報告者：福井 英次郎（日本大学） テーマ：「登山における熊除けスプレー携帯の推奨とその課題：性能基準と品質保証の観点から」 【報告②】（10:45～11:05） 報告者：太田 智之（日本経済大学） テーマ：「新型コロナ特例貸付における在日外国人への対応と課題：九州地方6県の社会福祉協議会に対するインタビュー調査の結果から」		
◆研究発表（研究大会賞選考報告）◆	11:10～11:55	4号館2階420講義室
座長：福井 英次郎（日本大学） (1人あたり発表15分、質疑5分) 【報告①】（11:10～11:30） 報告者：福山 公博（立命館アジア太平洋大学） テーマ：「地方老舗企業における時空を超えたSECIモデルの実践事例」 【報告②】（11:35～11:55） 報告者：永田 右京（岩手県立大学大学院（院生）） テーマ：「ZK-SNARKs 模倣システムによる政策対話インフラの構築：秘匿証明とLLMを統合した政策評価アーキテクチャの提案」		
＜昼食休憩＞	12:00～12:45	
◆パネル展示◆	12:00～12:45	4号館2階廊下
◆学会賞選考審査◆	12:00～12:10	4号館2階425演習室
◆第69回理事会◆	12:10～12:40	4号館2階426演習室
◆第22回定期総会◆	12:45～13:05	4号館2階420講義室
※一般会員が対象です。		
◆基調講演◆	13:15～14:45	4号館2階420講義室
テーマ：「知識創造理論と政策領域への応用可能性（仮称）」 司会：岡村 誠（東海学園大学） 基調講演者：丸山 一芳（京都橘大学経営学部教授）		

<休憩>		14:45～15:00	
◆パネルディスカッション◆		15:00～16:30	4号館2階420講義室
テーマ：「政策イノベーションの最前線：知識創造自治体への変革に向けた展望」 司会：吉川 和挟（四日市大学） パネリスト：近藤 裕（豊田市役所） 岡田 俊樹（豊田市役所） 伊藤 允一（瑞浪市役所） コメンテーター：丸山 一芳（京都橘大学）			
◆学会賞授与式・閉会式◆		16:40～17:00	4号館2階420講義室
学会賞報告：福井 英次郎（学会賞選考委員長：日本大学） 学会賞授与：朽木 量（政策情報学会会長：千葉商科大学） 閉会挨拶：岡村 誠（大会実行委員長：東海学園大学）			
◆意見交換会◆		17:30～19:30	原駅付近
参加費：5,000 円			